チャップリンのゴルフ狂時代（1921）

THE IDLE CLASS

メディア　映画
ジャンル　コメディ
製作国　アメリカ
色彩　B&W
時間　20分
初公開日　1921/12
公開情報　劇場公開
リバイバル　1975/03［東宝東和］

【解説】

原題は“有閑階級”。別にゴルフばかりやってるわけではないので悪しからず。チャップリン生き甲斐のブルジョワ批判に、ここでは彼らへの憐れみもさらりと出て、無論、そんな次元を超えたストレートなドタバタも満載。傑作と呼んでいい短篇喜劇。ゴルフ・シーズン到来。郊外に繰り出す汽車からは続々とゴルフバッグを担いだ紳士が降り立ちます。そこへ床下の荷物入れから颯爽と我らがチャーリー登場。肩にはやはりおんぼろのゴルフ用具を担いでいる。駅には人待ち顔の令夫人。待ち合わせのご亭主は来ない。そのぼんくらハズはまだホテルの部屋で優雅に身だしなみを整えている最中。いよいよ出かけようとしても、それまでバストのカメラがフルに引き、あらら、旦那ズボンをはかずにロビーまで出ちゃった。ここからのパンツ姿を周囲に見せまいとする必死の奮闘が本作最大の見どころ。チャップリン一人二役で、どちらかと言うと、こちらの役のギャグに力が入ってます。一方のチャーリーはゴルフ場。他人の球を勝手に打ち、それが自分以外のゴルファーに伝染する、ボール追い打ちギャグやコース上で昼寝の親父が球を呑むロストボールのギャグは有名。そこに先の夫人も姿を見せるが、やはり夫が来ないのですぐに乗馬に切り替え。その美しい姿に見とれるチャーリー、図式的すぎて却っておかしい、彼女とのスウィートホームを夢想します。孤独な旦那はと言うと、奥方の写真を眺め入っては涙に暮れると思いきや……。さて、ここからの仮面舞踏会のシークェンス（チャーリーが旦那と間違われる）に特に新味はないけど、会場内の巡査にビクついたらそれも招待客だったーーというくすぐりが、チャップリンの警官コンプレックスをよく表しています。色々あって、彼に同情した奥方が使いに彼の慰留を求めさせても、奮然とそやつの尻を蹴って去っていくチャーリー。おなじみの光景ですが、やっぱり嬉しくなっちまいます。

【クレジット】

監督	チャールズ・チャップリン	Charles Chaplin
脚本	チャールズ・チャップリン	Charles Chaplin
撮影	ローランド・トザロー	Roland Totheroh
出演	チャールズ・チャップリン	Charles Chaplin
	エドナ・パーヴィアンス	Edna Purviance
	マック・スウェイン	Mack Swain

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.